

とを聯想すると、苦笑を禁ぜざるを得ぬ。フキールドで差支はない。

物理を教科書では電場とか磁場とか謂ふが電氣工學の方では田磁とか磁田とかいふ人もあるが我等は最早その煩に堪へない。試に問ふが中學の理科教師より電氣工學の大技師に至るまで平素用ひて居る術語の漢字を誤なく書ける人は何人あるであらうか。

予は生徒に向て教科書の中の術語丈けでも宜しいから確乎と覚えて誤なく書けと言ふてあるがそれが中々大かしい。顧ふに先哲は多忙なる子孫後昆にかかる苦勞させじとて便利なる假名を遺したものではないか。

其の他磁力線は無難として、電力線は送電線と紛はしくて拙い。

電壓は無難として電動力は拙の拙なるもの、これ丈けは原語も甚だ拙い。E.M.F.に「力」といふ意味はない。

アムペア計といふ位なら何故アムペアメーターと謂はぬか、或は尙進んでアムメーターで何の差支があらう。

中學校や師範學校でアムペア計とかボルト計といふて教へてもそんな術語は何處にも通用しない。

電氣の工夫さへアムメーターとかボルトメーターとか言ふて居る世の中にさてもさても迂遠なことだ。

字義によつて事實を想像させる以外感應とか誘導とか又は何々計といふ譯は無用のものと考へる。

物理や化學は事實の學問である事實を措いて理論も何もありはせぬ。支那人のやうに文字の形や意義によつて

事實を想像して習ふべきものではない。又そんな優長か迂遠かの方法による時代は最早疾く過ぎて居る。生徒は漢字の意義を透してなく直接事實によつて物理を學ぶべき忙はしい時代に迫つて居るではないか。初學者を迷はすやうな拙い漢字の譯は片端から廢棄してしまふが宜い。

雜 錄

師範學校 中學校 物理及化學生徒實驗に
對する教員の注意(官報より轉載)

一生徒各自の考案に成る實驗は教員の同意を得るにあらざれば實行せしめざるを可とす。

二、教員は絶えず生徒實驗より生ずる危害を避けしむる事

に注意を怠らざるは勿論其救急的處置に關し豫め學校

醫等に合議して之に備ふる所あるべし。

三、生徒實驗より来る有毒瓦斯の危害に對しては常に實驗

室の換氣に力め且通風室の設備利用に注意すべし。

四、眼の傷害皮膚の火傷及創傷等に對しては之が救急手當に必要な薬品材料を準備し且機宜の處置を誤らざる

爲め豫め之が救急法を心得置くべし。

五、劇藥及毒藥の收支保存取扱には特に留意し且火災の豫防に對する設備並に消防上の應急處置を講じ置くべし。

六、保存取扱上特に注意を要する劇藥及毒藥の主なるもの

次の如し。
劇薬 石炭酸、鹽酸、硝酸、ピクリン酸、硫酸、硝酸銀、臭素、カフェイン
クロム、ホルム、フォルマリン、ヨードホルム、甘汞、ヨード、苛性カリ、鹽素酸カリ、苛性ソーダ、吐酒石、ヨード丁幾。
毒薬 無水亞砒酸、シャン酸、昇汞、沃化水銀、酸化水銀、ニトログリセリン。

七、火災の危険あるもの凡そ次の如し。

燐、カリウム、ナトリウム、エーテル、石油、アルコール、ベンゼン、二硫化炭素。

師範學校 中學校 物理及化學生徒實驗要目 (官報より轉載)

文部省訓令第一號

理化學の研究を奨励し其知識の普及を圖り以て殖産興業其他苟も國力の充實に資すべき事業の健全なる發達を期するは實に今日の急務たり各學校に於ては固より夙に此趣旨に基き理化學教授に努むる所ありと雖國家の將來に稽ふれば一層其教授方法を改善し特に重きを實驗に置き努めて形式に流れ注入に陥るの弊を防ぎ以て國民生活の實際に適切なる知識技能を確實に會得せしめ兼て獨創自發の精神を涵養せんことを要す。

此目的を貫徹せしめんが爲の師範學校中學校に於ける物理及化學の生徒實驗に關する設備に對し國費を支出し

て其完成を助くると共に茲に該科生徒實驗要目を制定せり地方長官は宜しく各學校長を督勵し本要旨に準據して生徒に實驗を課し以て理化學教授の効果を完ふするに於て遺憾なきを期せしめらるべし。

大正七年二月五日

文部大臣 岡田良平

師範學校物理及化學生徒實驗要目

本要目實施上の注意
一、本要目に掲げたる事項及其順序は學校の設備其他の事情により適宜斟酌を加ふるも妨なし。
二、生徒の實驗は教授と相關連して課するを可とす。
三、危險の虞ある實驗及劇藥毒藥等の取扱は生徒の實驗に習熟せざる時期に於ては成るべく之を避けしむべく又之を課する際には特に周到なる注意を要す。
四、火災の危険並生徒衛生上の危害の豫防等に就きては設備上に充分なる注意を拂ふべし。

物 理 の 部

男生徒の部

長さの測定

體積の測定

水の深さと壓力との關係

アルキメデスの原理

固體の比重測定

液體の比重測定

ポイルの定律